



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 辰也 TEL 03-3665-7612
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,381	22.0	1,546	244.4	1,603	111.2	1,077	87.7
2024年3月期第1四半期	8,511	△11.7	449	△73.0	759	△55.8	574	△51.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,243百万円(55.9%) 2024年3月期第1四半期 797百万円(△41.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	95.01	—
2024年3月期第1四半期	50.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	63,965	44,593	69.7
2024年3月期	62,512	43,973	70.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 44,592百万円 2024年3月期 43,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,200	24.0	2,700	194.2	2,800	121.8	1,900	111.8	167.54
通期	42,700	18.3	5,400	91.6	5,600	70.9	3,800	79.5	335.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	11,720,000株	2024年3月期	11,720,000株
2025年3月期1Q	381,275株	2024年3月期	381,226株
2025年3月期1Q	11,338,761株	2024年3月期1Q	11,467,420株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会活動の正常化による個人消費の回復やインバウンド需要の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、長期化するウクライナや中東情勢などにおける地政学リスクの高まりを受けた資源価格高騰に伴う原材料価格の高騰や、日米の金利差を背景とする円安の進行などによる物価高の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボグループは、2021年から2025年の5年間の計画期間とする中期経営計画『増強21-25』の基本戦略である「事業ポートフォリオの改革」と、「各事業の増強」に取り組んでおります。計画期間の後半2年間、「非連続的成長の実現」ステージと位置づける当期は、研磨材事業・化学工業品事業では、これまで進めてまいりました研究開発力、生産能力の強化や各事業の拡大に向け注力しております。生活衣料事業は、原燃料価格や人件費の高騰に加え円安による製品コストの上昇に対し、取引価格の改定や取引条件の変更により、収益性改善に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1,869百万円(22.0%)増収の10,381百万円、営業利益は1,097百万円(244.4%)増益の1,546百万円、経常利益は844百万円(111.2%)増益の1,603百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比503百万円(87.7%)増益の1,077百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

世界の半導体市場は、2023年前半に底打ちした後、2024年前半にかけて緩やかな回復が続いております。そのような状況の中、主力の超精密加工用研磨材において、半導体デバイス用途(CMP)は、生成A Iの急速な普及に伴うメモリや最先端ロジック向け半導体の需要増加、増産に伴う一部ユーザーの在庫水準の引き上げにより、受注が増加しました。シリコンウエハー用途は市場の過剰在庫が解消されつつあり、回復基調となりました。ハードディスク用途もデータセンター向け需要が戻りつつある一方、液晶ガラス用途は、足元のパネル市況の低迷が長期化する中、受注が低調に推移しました。パワー半導体用途は、電気自動車(EV)シフトの鈍化により、在庫調整の傾向にあるものの、新規顧客からの案件獲得などもあり堅調な受注が続きました。

この結果、売上高は前年同期比1,830百万円増収の4,619百万円となり、営業利益は1,053百万円増益の1,147百万円となりました。

②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、昨年来の中国経済低調の影響が継続しているものの、在庫調整の一巡により、電子材料を含め徐々に需要回復の兆しが見え始めています。また、新規製品への取組が奏功し、工場の稼働は前四半期対比で改善しました。

この結果、売上高は前年同期比144百万円増収の3,296百万円となり、営業利益は126百万円増益の270百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、物流費や原材料費の高騰によるコストアップに加えて、円安が影響し、厳しい環境が続きました。繊維製品は、物価の上昇が続く実質賃金が減少しているため、消費者の買い控えの傾向が続きました。また、ネット販売では、継続的なSNS、検索広告などのWebマーケティングの強化に加え、ネット専用製品を拡充し、効果的な商品訴求を図りました。一方、高品質な日本製品が評価され、海外向け販売は好調に推移しました。利益面については、円安の進行による原材料や資材などの価格高騰が続いており、粗利率が低下しました。

この結果、売上高は前年同期比52百万円増収の1,796百万円となり、営業利益は19百万円減益の184百万円となりました。

④その他

化成品部門は、医療機器用部品がユーザーの増産体制立ち上げ遅れの影響で減収減益となりました。金型部門は、自動車用金型の新規案件は昨年比で増加していますが、自動車メーカーの品質不正問題等により、依然として厳しい状況にあります。加えて、事務機器用金型も開発案件の端境期であることや、車載コネクタやスマホ向けホットランナーの引き合いも低調であり、非常に厳しい状況が続いております。貿易部門は、コロナ特需の反動と在庫調整があり減収減益となりました。

この結果、売上高は前年同期比158百万円減収の667百万円となり、営業利益は63百万円減益の56百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,452百万円増加の63,965百万円となりました。

流動資産は821百万円増加の24,511百万円となりましたが、これは現金及び預金や売上債権、棚卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は631百万円増加の39,454百万円となりましたが、これは主として研磨材事業における設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて832百万円増加の19,372百万円となりました。

流動負債は725百万円増加の12,481百万円、固定負債は107百万円増加の6,890百万円となりました。これは、仕入債務や設備関係支払手形などのその他流動負債が増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて619百万円増加し、44,593百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が623百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が1,077百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第1四半期連結累計期間の業績および今後の半導体需要等を勘案し、2024年5月15日に公表した第2四半期累計期間および通期の業績予想をそれぞれ修正いたしました。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,262	8,529
受取手形及び売掛金	8,554	8,608
電子記録債権	605	757
商品及び製品	1,071	1,203
仕掛品	2,702	2,623
原材料及び貯蔵品	1,664	1,738
その他	837	1,057
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	23,689	24,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,806	11,029
機械装置及び運搬具（純額）	6,563	7,028
土地	13,858	13,862
その他（純額）	2,732	2,639
有形固定資産合計	33,962	34,559
無形固定資産		
のれん	1,002	967
その他	214	203
無形固定資産合計	1,217	1,171
投資その他の資産	3,643	3,722
固定資産合計	38,822	39,454
資産合計	62,512	63,965

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,156	4,182
電子記録債務	1,095	1,339
短期借入金	1,223	1,152
未払法人税等	497	425
引当金	734	397
その他	4,048	4,984
流動負債合計	11,756	12,481
固定負債		
長期借入金	210	210
退職給付に係る負債	4,170	4,139
資産除去債務	500	503
その他	1,900	2,036
固定負債合計	6,782	6,890
負債合計	18,539	19,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,213	2,213
利益剰余金	32,684	33,137
自己株式	△1,002	△1,002
株主資本合計	40,569	41,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,204	1,311
繰延ヘッジ損益	△4	3
土地再評価差額金	1,527	1,527
為替換算調整勘定	742	793
退職給付に係る調整累計額	△67	△65
その他の包括利益累計額合計	3,403	3,569
非支配株主持分	0	0
純資産合計	43,973	44,593
負債純資産合計	62,512	63,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	8,511	10,381
売上原価	6,147	6,814
売上総利益	2,363	3,566
販売費及び一般管理費	1,914	2,020
営業利益	449	1,546
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	32
固定資産賃貸料	82	74
補助金収入	200	—
その他	54	7
営業外収益合計	366	114
営業外費用		
支払利息	5	6
固定資産賃貸費用	21	15
為替差損	12	18
その他	16	18
営業外費用合計	56	57
経常利益	759	1,603
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	128	3
特別利益合計	128	3
特別損失		
固定資産処分損	20	24
減損損失	6	0
その他	0	—
特別損失合計	27	24
税金等調整前四半期純利益	859	1,582
法人税、住民税及び事業税	145	374
法人税等調整額	139	130
法人税等合計	285	505
四半期純利益	574	1,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	574	1,077

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	574	1,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	106
繰延ヘッジ損益	2	7
為替換算調整勘定	65	50
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	223	166
四半期包括利益	797	1,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797	1,243
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	2,788	3,152	1,744	7,685	826	8,511	—	8,511
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,788	3,152	1,744	7,685	826	8,511	—	8,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	—	0	△0	—
計	2,789	3,152	1,744	7,685	826	8,511	△0	8,511
セグメント利益	94	144	204	442	7	449	△0	449

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては6百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,619	3,296	1,796	9,713	667	10,381	—	10,381
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,619	3,296	1,796	9,713	667	10,381	—	10,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	—	0	△0	—
計	4,620	3,296	1,796	9,713	667	10,381	△0	10,381
セグメント利益	1,147	270	184	1,602	△56	1,546	0	1,546

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては0百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	784百万円	772百万円
のれんの償却額	35	35